

豊水っ子だより

《校訓》 ゆたかに かしく たくましく



第4号

令和3年7月21日
豊水小学校

7月は人権学習旬間～いじめをしない・させない、いじめに負けない

豊水小学校では、7月は校内人権旬間を実施し、友達を大切に、絶対にいじめをしない・させない、いじめに負けない、子どもたちが安心して生活できる学校、いじめを許さない学校を目指して取り組んでいます。アンケートによる実態調査やそれをもとにした教育相談、各学級による人権学習、「ありがとうの木」の掲示等子どもたちが人権とは何か、人権を大切にするために自分たちで何ができるか等を考える機会を作り実践する旬間です。

【人権教室の実施】

コロナ禍のため人権擁護委員の方に来ていただくことはできませんでしたが、学年ごとに人権についての話を聞いたり、低学年と高学年に分かれてDVDを視聴したりして、感想を出し合いました。

【親子で作ろう人権標語】

人権標語を親子で話し合い、つくっていただきました。一部作品を紹介します。

- ・「ありがとう」心つながる感謝の言葉
- ・いやなこと がまんしないで うちあけて
- ・世界中の人々が幸せに暮らせるように まずは自分の行動から
- ・コロナでも 心のマスクは 外そうよ
- ・「大丈夫」のたった一言で 心の安心たもてるよ



【児童会による人権スローガン：豊水小学校なかよしスローガン】

代表委員会でいじめをなくすためにみんなで守りたいことを話し合って決めた後、児童集会で全校児童に呼びかけを行いました。また各学級でも人権スローガンを決めて取り組みました。

《学級の人権スローガン》

- 1年生：みんな なかよし にこにこ げんき
みんな だいすき にこにこ えがお
- 2年生：元気よくあいさつをして、みんなを明るくする。
ふわふわことば いっぱいの 2年生にしよう!
- 3・4年生：自分の思いを伝え、お互いに 支え合おう。
- 5年生：差別をせず、男女仲良く 過ごそうね。
- 6年生：友だちの大切さに気づき、相手のことを尊重し、
みんな大好きと言える 豊水小にしよう。

豊水っ子の笑顔が、校内にあふれることを期待しています。

【ありがとうの木】

子どもたちが友だちからしてもらってうれしかったことをハート型のピンクの画用紙に書きます。それを給食の時間に放送で紹介します。その後に、校舎内の掲示板にある「ありがとうの木」コーナーに貼っています。子どもたちも立ち止まって読んでいます。これからどんどんハートの葉っぱ(花びら?)が増えていくのを楽しみにしています。



【人権学習の授業参観と学級懇談会】

7月2日(金)の授業参観は、全学年で人権学習の授業公開を行いました。たくさんのご参観、ありがとうございました。

その他にも 生活アンケートの実施後、各担任による教育相談や生活チェックをもとに、担任が学級の児童全員と個別に教育相談を実施しました。それをもとに、児童理解の一助としていきます。また必要な情報は、職員間で共通理解を図り、それぞれの対策について話し合いました。今後とも本校の取組にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

学校運営協議会(コミュニティスクール)がスタート

今年度より、学校運営協議会(コミュニティスクール)がスタートすることとなりました。基本理念として次の二つをめざしています。

①地域と学校が課題を共有し、課題解決のために協働することを通して、さらに「地域とともにある学校づくり」の具現化に資すること。

②保護者・地域住民の意見や要望を学校運営に反映させ、学校と家庭・地域が一体となって、豊水っ子たちの健全育成を図ること。

協議会委員(廣瀬泰久様、西本美和様、桑本勝則様、松永裕治様、出口博則様、米崎幸代様+校長、教頭)の方々には、7月2日の授業参観にあわせてご来校いただき、学校の経営方針等について承認とアドバイスをいただきました。現代の教育は、学校単独では難しく、学校・家庭・地域・行政そして子どもたちで目標を共有し、相互の協力がなければ最大の効果を上げることができません。今後も連携のきずなを強くして、「地域とともにある学校づくり」に向けて、ご協力をよろしくお願いいたします。



親子でできる「楽しい学習遊びゲーム」紹介②

ひらがな神経衰弱

- ①2～4人1組でグループを作る。
 - ②ひらがな50音カードを、裏返してグループの中に並べる。
 - ③神経衰弱のルールで、最初の子から順番に2枚ずつカードをめくっていく。
 - ④めくった2文字で文字が作れたらカードをもらえる。作れなかったら、元の位置に戻す。
- ※濁点(゜)や半濁点(ゝ)も使ってよい。
※2文字だけではなく、3文字や4文字などもありにしてもよい。



学校便り「豊水っ子だより」はホームページにもアップされています。その他、随時学校の様子をお知らせしますので、そちらもご覧ください。右のQRコードをスマホ等のリーダーで読み取り、表示されたURLをクリックすると、豊水小学校ホームページへつながります。



令和3年度
豊水小学校
なかよしスローガン

わたしたちは、みんながなかよく、いじめのない、やさしい豊水小学校にするために、次のことを実行します。

1 <気づく>
お互いに支え合い、友だちの大切さに気づくことができる豊水小学校にしよう。

2 <考える>
相手のことを大切に考え、差別のない豊水小学校にしよう。

3 <行動する>
自分の思いを伝え、みんながなかよく、笑顔いっぱいの豊水小学校にしよう。

PTA美化作業、PTA資源回収 ご協力ありがとうございました

5月に予定されコロナ禍のため延期されていた親子美化作業が、7月4日(日)に行われました。休日の早朝にもかかわらず、たくさんの保護者の方にご協力いただき、心配された雨も降らず、草刈り・除草作業ができました。子どもたちも運動場の草引きを中心にがんばりました。4～6月中に、職員で時々除草は行っていたのですが、やはり少数の力では雑草の生える勢いの方が勝り、困っていましたが、たくさんの方のご協力のおかげで一気に校地内がきれいになりました。

また7月18日(日)にはPTA資源回収も行われました。これもまた各地区の1件1件にお声掛けいただき、たくさんの資源物を集めることができました。たくさんのご協力をいただき、保護者、地域の方々に支えられていることを、あらためて実感し、感謝いたします。



自分の命、身近な人の命を守る! マイタイムライン作成授業

昨年7月には人吉・球磨地方を中心に大雨による川の氾濫などで、町中が水にのまれ、多数の死者や行方不明者が出ました。つい先日は、静岡県の熱海市で大規模な土石流が発生し、いまだに救助活動が続いています。梅雨は明けましたが、熊本でも今後、台風等の被害が心配されます。そこで防災教育の一環として、玉名市防災安全課より2名の講師に来ていただき、7月12日(月)に「マイタイムライン作成授業」を実施しました。

マイタイムラインとは、大雨や台風などの自然災害から身を守るために、あらかじめ私たち一人一人の避難行動をまとめておくものです。学校の授業の中で、児童がこのマイタイムラインを作成することで、自宅周辺や地域の防災についての知識を深めるとともに、自分の命を守ろうという意識を育て、さらに各家庭での防災意識の高揚と避難行動の確認につながれたらと思います。児童が作成したマイタイムラインをもとに、ご家族でも各家庭の防災行動計画について、ぜひ話し合ってください。万が一の災害の際に、あわてず安全に避難し、自分の命および身近な人の命を守れるようにお願いします。以下は、6年児童の感想です。



私は、今日のマイタイムラインの授業を受けて、川が氾濫した時に、自分の家はどれくらい浸水するのかが分かったので、避難する前の準備をどうしたらいいのかが、何のレベルで準備や避難をしたらいいのかが分かりました。見本の備蓄品が多くて、家がないものがいっぱいあったので、家で話し合っ、買ったりして、そろえていきたいと思っています。今日、教えていただいたことを生かして、自分の命を守りたいと思います。

充実した夏休みとなりますように～校長先生からの3つの夏休みの宿題!

①家庭や地域のお手伝いをがんばること、②夏休みにしかできないことに挑戦すること、③事故にあわない、病気やけがをしないこと、夏休みを健康・安全に過ごし、また元気な姿で8/27に登校してきてください。

8・9月の行事予定

○8月 8日(日):山の日(東京五輪閉会式)
○8月 9日(月):振替休日
○8月11日(水)～13日(金):閉庁
○8月21日(土):玉名市人権教育研究大会
○8月27日(金):前期後半スタート
○8月30日(月):委員会活動
○9月3日(金)～9日(木):ノーメディアデー
○9月 5日(日):親子美化作業
※感染症等の状況によっては、予定が変更されることもあります。

○9月 6日(月):秋花の種まき
○9月17日(金):昔遊び、委員会
○9月20日(月):敬老の日
○9月21日(火):運動会総練習
○9月22日(水):振替休業日(9/25分)
○9月23日(木):秋分の日
○9月24日(金):運動会準備
○9月25日(土):運動会

夏の水の事故に備えて 水辺の安全教室(着衣泳指導)

「自分の命は自分で守る」ための知識と技能を学び、水辺における悲しい事故を防ぐことをめあてとして、3年生以上を対象に、7月15日(木)に「水辺の安全教室(着衣泳指導)」が実施されました。岱明B&G海洋センターから2名のインストラクターに来ていただきました。

まず水辺に行くときの5つの約束を学びました。

- ①一人だけで行かない
- ②天気情報をよく確かめて、天気が悪い時には行かない
- ③おぼれている人を見つけたら、大人を呼ぶ
- ④ライフジャケットを着用する(浮くものを持っていく)
- ⑤もし水に落ちたら、あわてずに浮いて待つ

衣服を着たまま入水し、動きにくさを体感した後、ライフジャケットを着た背浮きと、何もつけない背浮きに挑戦し、ペットボトルを使った浮き方や溺れている人の助け方などを学んでいました。以下は、6年児童の感想です。

私は、おぼれた時とおぼれている人がいた時に、どんな行動をとったらいいのかが分かりました。夏休み中に、海に行く予定なので、おぼれないようにして、もしもおぼれた時には、あわてないで浮いて助けを待とうと思いました。私は、体を浮かせるためには、力を抜いて、顔を上げ、あわてなければ浮くということを初めて知りました。また川遊びなどに行くときには、大人といっしょに行こうと思いました。水辺における悲しい事故は、絶対になくしていきたいです。



